



1学期、ありがとうございました

本日、子どもたちは1学期の終業式を迎えました。この1学期間、保護者の皆様には、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。日々の健康管理や家庭学習への励まし、学校行事へのご協力など、さまざまな場面で子どもたちを支えていただいたおかげで、1学期を無事に終えることができました。



子どもたちは、この4か月間、学習や運動会、遠足、たてわり活動など、さまざまな経験を通して成長してきました。できるようになったことや頑張ったことを、ぜひご家庭でも話題にいただき、一緒に成長を喜んでいただければと思います。

夏休みは、学校ではできないさまざまな体験ができる貴重な機会です。ご家族や地域の方々とのおふれあいを大切にしながら、有意義な時間を過ごしてほしいと思います。

2学期の始業式には、一回り成長した子どもたちの元気な笑顔に会えることを、教職員一同楽しみにしています。

1学期の間、保護者、地域の皆様方には、本校の教育活動、児童の見守り活動等にご理解、ご協力を賜りまして、心から厚くお礼を申し上げます。2学期も引き続き、保護者・地域の皆様のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

【充実した夏休みを過ごすために】

長い夏休みは、子どもたちがさまざまなことに挑戦し、大きく成長できる貴重な期間です。充実した毎日を過ごすことができるよう、ご家庭でも次の点についてご協力をお願いいたします。

①生活リズムを整えましょう

夜更かしや朝寝坊が続くと、2学期の学校生活への切り替えが難しくなります。「早寝・早起き・朝ごはん」を心がけ、規則正しい生活を続けましょう。

②家庭での役割をもちましょう

お手伝いは、責任感や思いやりを育てます。食事の準備や片付け、洗濯物をたたむ、掃除をするなど、毎日続けられる役割を決めて取り組めるとよいでしょう。

③本物にふれる体験を大切にしましょう

読書や自然体験、博物館・美術館への見学、地域のお祭りへの参加など、学校ではできない体験は、子どもたちの視野を広げ、豊かな学びにつながります。

④インターネットやゲームの使い方を見直しましょう

スマートフォンやタブレット、ゲーム機を利用する時間やルールをご家庭で確認してください。SNSでのやり取りや動画の視聴、オンラインゲームなどでは、個人情報を書き込まないことや、知らない人とやり取りをしないことについても話し合ってください。

⑤困ったことがあれば一人で悩まないようにしましょう

友達とのことや生活の中で困ったこと、不安なことがあれば、一人で抱え込まず、家族や身近な大人に相談するようお願いください。学校も子どもたちを応援しています。（※裏面に続く）

(※表面より)

夏休みは、子どもたちが「言われてする」のではなく、「自分で考え、自分から行動する力」を育てる絶好の機会です。学校では経験できないことに挑戦したり、興味のあることをじっくり調べたり、お手伝いに取り組んだりする中で、大きく成長してくれることを願っています。

長い夏休みは、ご家庭や地域で過ごす時間が中心となります。子どもたちが安心して充実した毎日を送ることができるよう、励ましや見守りなど、保護者の皆様のお力添えをお願いいたします。子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切に、ぜひ挑戦を応援していただければ幸いです。

また、生活リズムを整えることは、心身の健康を保つうえでとても大切です。十分な睡眠やバランスのよい食事を心がけるとともに、お金の使い方についても、ご家庭で話し合う機会をもっていただければと思います。

さらに、スマートフォンやSNS、オンラインゲームの利用については、利用時間や課金、インターネット上での人間関係など、さまざまなトラブルが心配されます。ご家庭でルールを確認し、お子様の様子を見守りながら、安全で適切な利用についてお話しいただきますようお願いいたします。

のだっこ Diary

★子どもたちの学校生活のようすは、本校ホームページでも紹介しています。
随時更新していますので、ぜひご覧ください。

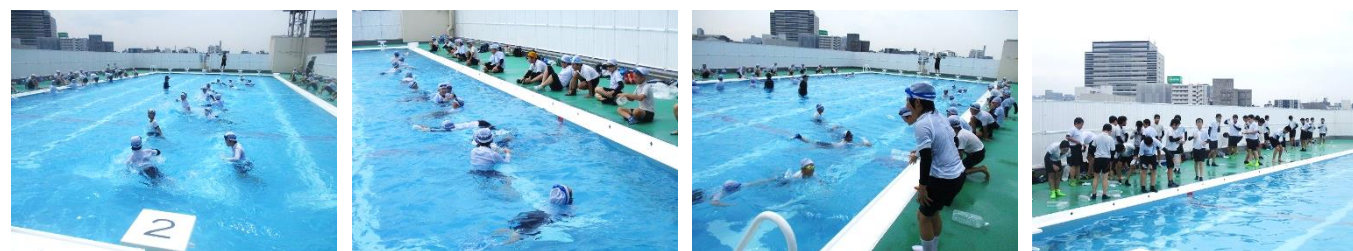
【みずあそび（1年生）】7月2日（木）

生活科では、水あそびを楽しみました。チューブボトルに水を入れて勢いよく飛ばしたり、友達と水をかけ合ったりしながら、夏ならではの遊びを満喫しました。子どもたちは歓声を上げながら夢中になって活動していました。友達と関わり合いながら、水の心地よさを感じ、笑顔あふれる楽しい時間となりました。



【着衣泳（5・6年生）】7月13日（月）

水着の上から普段着を着て、着衣泳を行いました。学校の水泳学習では、泳力を高めるだけでなく、水の事故から自分の命を守る力を身に付けることも大切な目的の一つです。この日は、服を着たまま水に入ることによって、体が重くなり、思うように動けなくなることを実際に体験しました。また、無理に泳ごうとせず、落ち着いて浮いて助けを待つことの大切さや、身近にあるペットボトルが浮き具の代わりとなり、命を守ることにつながることも学びました。



※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。